

令和3年度

委員会だより

NO. 3

第3回 子育て委員会編

北海道PTA連合会

令和3年12月21日(火) 発行

12月4日(土)に第3回子育て委員会が開催されました。各地区の子育て研修会の交流や今年度の研究内容のまとめ・次年度の方向性について話し合われました。

1 今年度の取組(活動計画・研究の視点から)

- ①各地区における活動及び研究の推進
- ②道P連子育て・広報委員会の活動
  - ア 本年度の方向性の確認
  - イ 地区子育て委員会の具体的な活動・実践状況についての情報交流
  - ウ 各地区における引継方法等についての情報交流
  - エ 道P連ホームページへの投稿体験
  - オ 地区子育て委員会報告書の集約・研究内容の交流
  - カ 今年度のまとめと次年度の方向性についての話し合い

2 成果と課題(研究の内容から)

- ①子育て委員会の活性化と組織の充実の在り方

《成果》

- ア 時期の変更、会場手配等、対応が大変だったが、実施できる形を模索し実現できた。
- イ 時短、参加者限定、複数会場でのZoomによる講演会実施、単Pごとに会場を設置してオンラインによる講演会と分科会実施、YouTubeによるライブ配信、動画配信や再視聴できる対応など、地域性に合わせた工夫による実施ができた。
- ウ オンラインの個人視聴においてはチャット機能を使って意見交流が可能だった。
- エ web配信の試みの機会となった。

《課題》

- ア オンラインにおいて、視聴だけでなく対話形式にすることが容易でない。
- イ オンラインで開催の準備、運営の技術や機材の費用等、誰にでもできる形ではない。
- ウ オンライン視聴側の環境整備が必要である。
- エ 顔を合わす機会がないことにより、組織体制存続や引継ぎ業務に支障が出ている。
- オ 地区の事務局の任期が短く、引継ぎがスムーズにできない状況があり、その改善策はないか。
- カ コロナ禍における地区子育て委員会の開催を推進する。
- キ 小1、小2の保護者がPTA活動の未経験のため、R4年度入学予定の保護者も含め参画を促進する。

- ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

《成果》

- ア コロナ禍により、家庭教育の在り方、親子のかかわり方を見つめ直す機会になった。
- イ 「子育て委員会」となったことで、父親の子育て関与を企画の視点に組み込んだ。

《課題》

- ア ポストコロナにおける家庭教育の在り方について、経験を生かした実践が必要である。
- イ 「G I G Aスクール」等、ネットに関わる家庭教育の重要性への理解が必要である。

#### ③子育て委員会の話題提供源としての広報活動

##### 《成果》

- ア コロナ禍を考慮し、広報紙コンクールの応募資格について、年1回の発行でも応募可能になるよう日本PTA協議会に要請し実現した。
- イ 道PのHP投稿について体験研修を行い、各地区との交流への足掛かりとした。

##### 《課題》

- ア 今後も計画的に全道の特徴的な取組を広く普及する。
- イ HPへの投稿の仕方について、会員が活用できるよう取組・改善を推進する。
- ウ 広報紙（紙による発信）のよさを見直す機会である。
- エ ペーパーレスや活字離れへの工夫・改善とネットとの共存を模索する。

#### ④令和7年度提言に向けた取組の準備

##### 《成果》

- ア テーマの候補例を話し合った。  
(例) ネットワーク、情報・メディア、外部との連携、食（給食）について

##### 《課題》

- ア 担当地区の決定、提言に向けた役員の任期継続等、見通しと早目の準備が必要である。
- イ 事務局と連携し、スムーズな計画と準備が理想的である。

### 3 次年度の方向性

#### ①子育て委員会の活性化と組織の充実の在り方

- ア 「活動を止めないPTA」を目指し、活動の目的・趣旨等の共通理解に努める。
- イ 会議について、集合型・リモート形式等、実態に合わせて開催する。

#### ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

- ア 子育ての悩みを共有する場を設定し、意見交流や地域関係機関と連携できるよう情報発信を推進する。
- イ 関心の高いテーマをもとに家庭教育の在り方を研修し、取組の交流をする。

#### ③子育て委員会の話題提供源としての広報活動

- ア ホームページによる継続的な情報発信を推進する。
- イ ホームページの周知をし、投稿・閲覧を呼びかけ、会員による活用の促進を図る。
- ウ 各地区の取組の情報共有化と参考資料の整備をする。
- エ 広報紙コンクール参加への呼びかけを推進する。

#### ④令和7年度提言に向けた取組の準備

- ア テーマの絞り込みや、担当地区を想定する。
- イ 提言までの取組や計画の大枠（予定）を決める。

**北海道PTA連合会事務局**

〒060—0003 札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階  
TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929  
Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp